

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名 運動部指導者派遣・研修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校体育係 電話番号：058-272-1111 (内 3590)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,875 千円 (前年度予算額： 10,986 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,986	0	0	0	0	0	0	0	10,986
要求額	9,875	0	0	0	0	0	0	0	9,875
決定額	9,875	0	0	0	0	0	0	0	9,875

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

運動部活動の活性化・充実に向け、県立高等学校及び特別支援学校高等部に対して県が専門的技量を有する社会人指導者を計画的に派遣し、環境整備を推進する必要がある。

また、平成31年3月に策定した「岐阜県高等学校部活動ガイドライン」に基づき、ガイドラインに沿った活動を推進する。

(2) 事業内容

運動部活動の活性化・充実に向け、県立高等学校及び特別支援学校高等部に対して県が専門的技量を有する社会人指導者を計画的に派遣し、環境整備を推進する。

研修会を実施し、指導力の向上を図るとともに、「岐阜県高等学校部活動ガイドライン」に沿った健全な活動を推進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 10 / 10
- ・ 公立高校における運動部活動の充実のため、設置者である県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	8,960	社会人指導者謝金等
旅 費	499	指導者研修等
需用費	1	コピー用紙等
役務費	164	保険料
その他	251	会場使用料
合計	9,875	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例 11 条
ぎふスポーツ推進計画

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 運動部活動の活性化等に向け、県立高等学校及び特別支援学校高等部に対して県が専門的技量を有する社会人指導者を計画的に派遣し、環境整備を推進します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
社会人指導者派遣人数	—	85人	91人	88人	88人	96.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	延べ100名の社会人指導者を、高等学校及び特別支援学校高等部へ、年間24回継続的に派遣する。 <主な派遣先運動部活動種目> サッカー9名、硬式野球、バレーボール、バスケットボール各7名、バドミントン、弓道、ソフトテニス、ホッケー、卓球各5名等、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修事業は書面による研修となったが、運動部活動離れの進む中、専門的指導者を派遣することにより、自主的・自発的な活動が促進され、部活動加入率を維持することができている。また、選手強化の一助にもなっている。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	生徒のニーズや生涯にわたりスポーツに親しむためには、運動部活動の普及・活性化に努める必要がある。また、学校からの要望も多い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価) 1	専門的技量を持つ指導者を派遣することで、部活動の魅力が発信され、部活動加入率の低下の歯止めになる。また、危険を伴う活動においては、安全確保に貢献している。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	各学校からの社会人指導者派遣希望に対して、大半の部の希望どおりの指導者を派遣できている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>各事業の趣旨・目的を明確化することで、各学校が要望に応じて事業を選択、活用できるようにする必要がある。その上で、各学校の状況を注視しながら派遣人数や回数を定めていくことが課題である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>部活動の活性化、子どもの体力維持・向上を図るとともに、健全な活動を促すため、「岐阜県高等学校部活動ガイドライン」に沿った研修会を開催するとともに、社会人指導者の派遣についても、各学校からのニーズも多く継続が必要である。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	

